

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

評価尺度を利用した服薬アドヒアランス影響要因の評価と介入

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院薬剤部

【研究責任者】 飛鷹 範明（薬剤部 助教）

【研究目的・意義】

安全かつ有効な薬物療法を提供するためには、薬剤師は患者さんの服薬アドヒアランスを評価し、アドヒアランスの向上を目的に服薬指導などの介入を行うことが重要な課題として挙げられます。現在、服薬アドヒアランスを評価するための尺度はいくつか報告されていますが、日本で使用可能な尺度が限られていることや評価項目が多いことなどから臨床現場で使用することが難しく、多くの場合において薬剤師側の主観的な評価で行われているのが現状です。

そこで今回、これまでの研究や報告を参考に新たな服薬アドヒアランス介入プログラム（以下、プログラム）を作成しました。本プログラムは、服薬状況の評価するための3項目から成るコンプライアンス評価尺度とコンプライアンス不良な患者さん（すなわち服薬アドヒアランス不良な患者さん）においてそれら原因を評価するための4項目から成る質問で構成されており、簡便な方法と考えています。既に、愛媛大学医学部附属病院薬剤部では2019年6月から患者さんとの面談（入院時持参薬確認）において本プログラムを使用し、服薬アドヒアランスに関する問題点を抽出した後、介入を行っています。

本研究では本プログラムの有用性を評価することを目的にデータの抽出・解析を行う予定です。

【調査の対象となる患者さん】

2019年6月～2020年12月までに入院された患者さんを対象としています。

【研究方法】

調査の対象となる患者さんのうち繰り返し入院され、本プログラムが使用された患者さんが主な対象となります。そして、電子カルテより以下について調査し、解析を行います。

【調査項目】

年齢、性別、診療科、服用薬、疾患名、コンプライアンス評価尺度の点数、薬剤師による介入内容

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化します。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。なお、匿名化した情報の一部は、研究分担者である松山大学薬学部へパスワードを付加したファイルにてUSBもしくはCD-R等で郵送、提供することがあります。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛鷹範明

【研究実施体制】

研究機関: 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者: 助教 飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号: 089-960-5744

研究分担者: 薬剤師 峠 雄太

薬剤部長 田中 守

室長 中井昌紀

薬剤師 橋本麻央

松山大学薬学部 鷺見悠介

松山大学薬学部 教授 中島光業

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いて欲しいという方は、下記の連絡先までお申し出下さい。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は、下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号: 089-960-5744